

平成 25 年度 第 1 回長野市環境審議会 会議録(概要)

- ・開催日時：平成 25 年 8 月 27 日（火）午前 10 時から午前 11 時 50 分まで
- ・開催場所：長野市役所第二庁舎 10 階 会議室 17
- ・出席者
 - 委員：中村正行会長、田所副会長、青木委員、小木曾委員、樋口委員、福田委員、金井委員、北沢委員、小林委員、宮島委員、伊藤委員、吉田委員
 - 特別委員：伊東地球温暖化対策専門部会長
 - 長野市：環境部：小林環境部長、山崎廃棄物対策課長、井上生活環境課長、山上副参事兼清掃センター所長、返町衛生センター所長
 - 事務局（環境政策課）：松本環境政策課長、塚田部主幹、岩山課長補佐、村松地球温暖化対策室長、丸山課長補佐、山岸係長、横谷係長、村石主査、伊藤主事

《 資料 》

- 資料 1 長野市地球温暖化対策地域推進計画(中間報告)
- 資料 2 第二次長野市環境基本計画 平成 24 年度取組の結果
- 資料 3 自然環境調査専門部会について

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 長野市地球温暖化対策地域推進計画の進捗評価及び見直し（中間報告）について

（伊東地球温暖化対策専門部会長、環境政策課地球温暖化対策室）

〈資料 1 により、長野市地球温暖化対策地域推進計画の進捗評価及び見直しについて説明〉

（伊藤委員）

資料(6 ページ)リーディングプロジェクトの進捗評価総括表「方針 4 低炭素エネルギーへの転換」について、2012 年温室効果ガス削減量の目標値は定まっていないのか。

（伊東地球温暖化対策専門部会長）

現在、2012 年の温室効果ガス削減量算出ができていない。

（伊藤委員）

長野市地球温暖化対策地域推進計画（61 ページ）温室効果ガス削減期待量一覧の「低炭素エネルギーへの転換」には 2020 年、2030 年、2040 年の目標値が無く、2050 年に 49,000 トンという削減計画が表記されているが、37 年後の目標よりも 2020 年（7 年後）の目標を掲げたほうがいいのではないか。

また、資料(10 ページ)の表中ほどの「方針 4 低炭素エネルギーへの転換」の取組状況も空欄だ

が、計画がされていないのか。

(伊東地球温暖化対策専門部会長)

短期目標を設定すべきという意見は以前からあったので、現在見直している。しかし、昨年の数字がすぐに出てくるわけではないので難しさはある。

(事務局)

「方針4 低炭素エネルギーへの転換」の空欄については、実施主体として事業者を想定しているが、事業者の進捗状況が把握できないため、削減量が空欄になっている。

(伊藤委員)

資料(14 ページ)の長野市地球温暖化対策地域推進計画の短期期間総括表の中の「4 低炭素社会の転換」では、事業数:3、不明:3となっているが、不明とはどういうことなのか。

(事務局)

「実施状況が把握できていない」ためである。商工会議所を通じて事業者に地球温暖化対策の取組についてアンケートをとったが、「方針4 低炭素エネルギーへの転換」についてはアンケートを行っていない。

(伊藤委員)

柱になっている「方針4 低炭素エネルギーへの転換」に対して“不明”というのは調査不足ではないか。

(事務局)

今年2月の専門部会で、23年度の反省点として、「事業者や市民の状況把握が難しいということが、地域推進計画の推進評価においては、ウィークポイントになっている」と認識している。

これを踏まえて商工会議所と協力して今回初めてアンケートをとった。今後はきちんと結果がでるものを評価に加えるように改善したい。

(小木曾委員)

資料(6 ページ)のリーディングプロジェクトの進捗評価総括表の2012年、2020年の進捗評価の欄では、「CO2削減量算出困難」となっている項目数が多いのはいかなものか。

具体的な数値が出るような、他の項目に変えたほうがいいのではないか。

(伊東地球温暖化対策専門部会長)

現在、地域推進計画の見直しを行っている。数値が出るものと難しいものがあるので、評価基準も見直していく。具体的な見直しを加えて、次回の審議会に報告したい。

(中村会長)

資料(16 ページ)の望ましい姿や方針を「国の分類にあわせ、似た施策を集約する」というのは

国から指示があったのか。

私はむしろ、長野市の地域性に合わせて具体的な施策を書いている、現行のものがいいと思う。

(伊東地球温暖化対策専門部会長)

専門部会でも長野市の特徴を活かしたものにすべきだという意見があり検討する。

(事務局)

「市民にわかりやすいものを」ということで望ましい姿と方針を集約した。方針の一段階下の中で、特徴が出るようなカテゴリーを設けていきたい。

(小木曾委員)

資料(16 ページ)の温室効果ガス削減の「数値目標」について、見直し(案)では中間の削減目標(2020年度15%以上)が無くなっているが、個別の目標の設定に変わったのか。

(事務局)

中間目標の2020年まであと7年なので、3年後、さらに4年後とする「短期目標」を設けていく。したがって、無くなったわけではなく、今後の部会で検討していく。

2 第二次長野市環境基本計画について

(環境政策課)

〈資料2、平成25年度版環境白書(冊子)により第二次長野市環境基本計画について説明〉

(中村会長)

「遅れ気味」とは、遅れているだけで間に合いそう、という意味なのか。

(事務局)

各担当課での評価であるが、現在取組を進めている。

(宮島委員)

「大切にしたい長野市の自然」について、「松代東条にオオムラサキが群生している地域があるが、私有地のため保全が難しい理由で、5年前から市に陳情を出している」と松代地区から意見をもらった。歴史施設だけではなく、自然環境も全国にPRして活性化できるような動きにつなげていくことはできないか。今後、念頭に置いてほしい。

(事務局)

オオムラサキについては、以前に検討委員会で検討した経過がある。確かに数は少なくなっているが、そういった場所はどこだけではないので、保護又はPRするということになると見極めが重要になる。「大切にしたい長野市の自然」を受けて、それを活用していくには、こういった受け皿を作って、継続的に行っていくのがいいのか検討する。

(中村会長)

松代のオオムラサキが掲載されているのなら、レッドデータブックではないが開発等があった場合に利用できると思うが、これからはその活用が課題。

(事務局)

レッドデータブックなら保護ということになるが、「大切にしたい長野市の自然」については、「大切にしたい長野市の自然」の情報を共有し、公共工事には配慮してもらっている。それがもっと広がるように配慮したい。

(伊藤委員)

学校や図書館には配布されているのか。

(事務局)

市立図書館、市内小中学校、住民自治協議会、公民館等に配布し、ご活用いただいている。一般にも、貸出や販売（フィールド版のみ）も行っている。

3 自然環境調査専門部会について

(環境政策課)

〈資料3により自然環境調査専門部会について説明〉

(中村会長)

特別委員の任期満了の日(平成26年2月9日)をもって、自然環境調査部会は廃止となります。今後、専門部会委員の皆さんには、長野市自然環境保全推進委員としての活躍を打診していただくなど、引続き市の自然環境保全施策に関与する機会を検討してください。

4 その他

(中村会長)

以上で会議事項が終了した。それでは、進行を事務局にお返りする。

(事務局)

事務局からの連絡として、次回の審議会は平成26年2月上旬を予定している。

5 閉会